

## 第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗及び評価

（ A：実施率90%以上 / B：実施率50～90% / C：50%未満 / D：未実施 / E：外的要因により実施不可 ）

	A	B	C	D	E	再掲載	計	実施率
<b>基本目標1 地域活動を支える担い手づくり</b>	22	6	3	0	2	0	33	94%
（1）地域住民の福祉への理解とネットワークの構築	2	4	3	0	1	0	10	90%
（2）小地域福祉活動の一層の充実	4	2	0	0	0	0	6	100%
（3）誰もが参加できる地域活動の推進	16	0	0	0	1	0	17	94%
<b>基本目標2 支援が必要な人を支える地域づくり</b>	25	9	1	1	0	0	36	97%
（1）包括的な支援体制の整備	19	6	0	1	0	0	26	96%
（2）大規模災害への福祉的対応	6	3	1	0	0	0	10	100%
<b>基本目標3 適切な支援につなげる体制づくり</b>	28	6	1	0	1	0	36	97%
（1）生活上の課題を解決できる仕組みの構築と支援事業の推進	24	6	1	0	1	0	32	97%
（2）地域福祉充実のための様々な提案の促進	4	0	0	0	0	0	4	100%
<b>合 計</b>	75	21	5	1	3	0	105	96%

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<25頁>

基本目標1 地域活動を支える担い手づくり

(1) 地域住民の福祉への理解とネットワークの構築

① 広報・福祉啓発活動の充実

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	広報紙・ホームページの充実	公的資度では対応できない生活・福祉課題に、社協が中心となり地域全体で取り組むために、広報機能を充実し、社協の存在意義を住民に十分理解してもらうとともに、地域住民が必要とする情報の収集や、地域住民に提供する広報活動を効果的に進めるため、福生市や関係団体等の協力を得ながら、広報活動のさらなる充実を図ります。 また、地域住民が福祉への理解を深め、地域生活課題に気づき、関心を持つイベントの開催等、福祉啓発活動の充実を図ります。	必要に応じてガイドブック及び概要改定版を作成します。 FVACと連携し、声の広報の周知を進めていきます。 多言語対応について検討します。	B（実施率50～90%） 社協広報の紙面の改善を実施し、また声の広報作成者への速やかな広報紙の提供の実施いたしました。 多言語対応は、引き続き検討中です。	継続	総合運営課 総務係
2	SNSなどによる情報発信の研究		SNSの効果的な情報発信として、twitter等のコンテンツ対応を進めていきます。 ※その他、様々な世代へのアプローチ方法を検討していきます。	A（実施率90%以上） 令和3年9月よりTwitterを新規開設しました。引き続き積極的なSNSの活用に努めました。	充実 SNSの効果的な情報発信として、twitter等のコンテンツの充実を図ります。 ※その他、様々な世代へのアプローチ方法を検討していきます。	総合運営課 総務係
3	広告協賛企業の募集		新たな広告媒体の検討をすると共に、社協広報及びホームページの充実を進めていきます。	B（実施率50～90%） 社協広報への広告収入は、継続されています。バナー広告の件数は増減はありませんが、法人会員等へ周知を行っています。	継続	総合運営課 総務係
4	福生市民福祉チャリティーゴルフ大会などの福祉啓発事業の充実		実行委員会形式で実施し福祉車両購入資金の寄付を募ります。	E（外的要因により実施不可） 新型コロナウイルス感染状況により中止とした。	継続 過去大会は協議終了後にパーティーを開催していましたが、今年度はパーティーは中止とし、感染対策を実施したうえでゴルフ大会を実施する予定。	施設サービス課 施設サービス係
5	共同募金啓発運動の協力		社協広報を利用した地域配分申請情報の掲示と歳末・赤い羽根共同募金を行います。	A（実施率90%以上） 赤い羽根共同募金の啓発活動、歳末たすけあい運動募金活動を行い、歳末は街頭募金を再開しました。	継続	総合運営課 企画財政係

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<26頁>

基本目標1 地域活動を支える担い手づくり

(1) 地域住民の福祉への理解とネットワークの構築

②新たな広報手段の活用

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）		計画（令和4年度）		所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	C（実施率50未満）	具体的な計画など （継続以外の場合）	継続	
1	多様な広報手段の活用	地域住民に広く情報を提供していくためには、多様な生活様式に合わせた提供、高度情報通信の活用などによる情報発信が必要です。そこで、商店の店先、ラジオ放送、企業誌、インターネット・SNSなど、様々な広報手段を活用し、情報を届ける対象に合わせた、効果的な広報活動を進めます。	市内の情報発信ツールの把握をしながら連携等の方法の検討をしていきます。	新型コロナウイルス感染拡大により各会館及び計画していた店舗等へのチラシ等の設置等は進展しませんでした。SNS(Twitter、Facebook)を活用した情報発信は積極的に行ないました。	C（実施率50未満）	継続	総合運営課 総務係	
				広報の全戸配布に該当しない企業等々の社員に対しても情報の提供等の工夫が出来ないか検討いたしました。	C（実施率50未満）	継続		
2	企業誌等、各種情報媒体への情報提供	現代に合わせた情報発信をするため、情報収集を行いながら、新たな情報提供を検討していきます。					総合運営課 総務係	

③企業・商店街などとの連携

1	企業・商店街・その他関係団体による社会貢献活動支援	福生市社協は、企業・商店街（商栄会や組合）・その他関係団体との連携を模索し、協働により地域の福祉活動を実施することで、お互いが高め合い、地域の発展につながる活動を展開していきます。	企業や商店街などが社会貢献活動に参加できるよう情報提供を行い、新たな機関との関係性を築きます。	新型コロナウイルス感染拡大防止により行事などが開催されませんでした。法人会員等を通じ関係性の継続に努めた。	C（実施率50未満）	継続	総合運営課 企画財政係	
2	広告協賛企業の募集（再掲）		行事の中止があることから、今後も見据え募金箱などの設置を検討していきます。	行事の中止は予測されたが、通常の広告募集のみにとどまりました。	B（実施率50～90%）	継続	再開される行事もあり、協賛金の依頼を行います。	総合運営課 企画財政係
3	クラウドファンディングの検討		クラウドファンディングが適正に活用できるのか精査し、仲介業者の検討も進めます。	会費のオンラインクレジット決済を内部で協議し、他社協状況など検討しました。	B（実施率50～90%）	継続		総合運営課 企画財政係

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<26~27頁>

基本目標1 地域活動を支える担い手づくり

(2) 小地域福祉活動の一層の充実

①小地域福祉活動リーダー及びボランティアの育成

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	小地域福祉活動リーダーの連絡会・研修会の開催	地域の福祉力を高めるためには、組織体制の充実、生活課題の把握と実践、地域福祉活動の担い手の育成と確保が必要です。 小地域福祉活動の要であるリーダーは、組織運営、活動課題、運営方法を学ぶことによって一層リーダーシップを発揮することができ、組織や活動が活性化します。また、小地域福祉活動を拡充するには多くの人材が必要となるため、ボランティアとなる人材の発掘・育成に努めます。	福祉地区の活動を充実させるための学習会の開催や視野を広げるために区市町村のサロン活動の事例等を参考にした研修会を開催します。	A（実施率90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
				全国小地域連絡会（オンライン会議）への参加を企画しました。参加者は43名で、今後のサロン活動への活性化に努めました。		
2	小地域ごとにボランティア入門講座の開催			B（実施率50~90%）	継続	相談支援課 FVAC
				個別でのスタッフ研修の企画・運営の支援を行いました。		

②小地域福祉活動の基盤強化への支援

1	共同募金配分金・民間助成金等の情報提供・活用支援	福生市社協は、小地域福祉活動を支援するため、共同募金配分金や各種民間助成金の活用や活動団体の財源確保の方策を支援していきます。	共同募金配分金・民間の助成金の情報提供し、適正な助成金の使途について理解を求め、自主的な活動につなげます。	A（実施率90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
				各種民間助成金等の情報は随時ホームページに掲載、情報コーナーに設置しました。また、該当団体へ情報提供しました。		
2	小地域福祉地区における財源確保への支援			B（実施率50~90%）	継続	相談支援課 FVAC
				各地区へ助成金の適正な使途について説明しました。民間助成金の活用についての情報提供をしましたが、コロナ禍で活動自粛している地区が多く、実際に民間の助成金を活用する地区はありませんでした。		

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<26~27頁>

基本目標1 地域活動を支える担い手づくり

(2) 小地域福祉活動の一層の充実

③地域福祉関係団体・機関との連携強化

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	町会・自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ等地域団体との連携促進	小地域福祉活動を展開するためには、地域福祉関係団体等との連携が必要です。個人の生活課題が多様化と複雑化している現在、地域内で課題解決するため、多くの機関・団体とのネットワークを構築し、地域福祉関係団体等との連携強化を図ります。	地域内で課題解決するため、多くの機関・団体とのネットワークを構築し、地域福祉関係団体との連携強化を図ります。	A（実施率90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
				地域（町会、自治会）の懇談会やネットワーク会議などに参加して連携強化を図りました。		
2	各種福祉団体、福祉施設等との連携促進			A（実施率90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
				福祉施設や障害者自立生活支援センターとの連携促進を図り、随時、講座や研修等の情報共有や、団体内での問題に対する相談支援を行いました。また、円滑な活動となるよう会議等の会場確保に努めました。  障害者支援団体支援講座：1回		

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<27頁>

基本目標1 地域活動を支える担い手づくり

(3) 誰もが参加できる地域活動の推進

① 広報・啓発活動の充実

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	FVACの 情報紙・ホ ームページ の充実	ボランティア・市民活動に対する地域住民の理解を広げ、活動参加を進めるためには、ボランティア活動や市民活動の広報や情報提供を充実していくことが必要です。そのため、ふっさボランティア・市民活動センター(通称:FVAC)の専用ホームページとボランティア等の市民活動情報紙「アクション!」やメール等多様な媒体を活用するとともに、活動のきっかけとなる体験や交流等の機会づくりに努めます。	ホームページ、Facebook、情報紙「アクション」やメール等多様な媒体を活用するとともに、活動のきっかけとなる体験や交流の機会づくりに努めます。	A（実施率90%以上） 随時、ボランティア活動や市民活動状況の情報発信に努めました。 また、オンライン（Zoom）やYouTubeの構築、活用を通して更なる情報の発展に努めました。  HPアクセス数 28,742件 Facebookアクセス数1,463件 YouTubeチャンネル開設 登録数52人・閲覧数530件 アクション!発行 年6回各1,500部	継続	相談支援課 FVAC
				E（外的要因により実施不可） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「ふくふくまつり」「福祉バザー」とも中止となりました。	継続	
2	「ふくふくまつり」「福祉バザー」などの福祉啓発事業の充実	登録するボランティア・市民活動団体だけでなく、市民すべてを対象に、社協の特性である交流や連携を図り、地域福祉の推進を図ります。				

② ボランティア育成支援プログラムの充実

1	各種ボランティア講座の充実	一人でも多くの地域住民が、様々な領域や場面でボランティア活動に主体的に参加するためには、各種ボランティア養成プログラムを充実させることが必要です。対象別、課題別のプログラムを充実させるとともに、スキルアップを目的とした講座を開催します。また、小地域単位や企業、学校、団体等で自主的にボランティアの養成や講座などが行えるように支援していきます。	今までの講座や研修に捉われることなく、アウトリーチの機能をもって、環境問題や社会情勢に沿った講座や研修会の実施をします。	A（実施率90%以上） 日頃より、市民の興味関心、ニーズを探りながら、積極的に講座を企画・開催しました。  (市民活動講座 全25回・参加者数552人)	継続	相談支援課 FVAC
				A（実施率90%以上） 研修・講座終了後には、毎回アンケートを用いて、今後の計画に対する情報収集、検証に努めました。	継続	
2	研修・講座などのプログラムの情報収集及び提供					
3	夏！体験ボランティアの充実		夏休みに開催する、「夏の体験ボランティア」に参加することで、世代に関係なく、人や社会との関わりの中から、思いやりや充実感を得られるよう努力します。	A（実施率90%以上） コロナ禍で、今までとは違う新たな夏！体験ボランティアの内容・プログラムを構築しました。参加したことのない市民が体験ボランティアに参加し、今後の活動につながりました。  活動プログラム：10メニュー 参加者60人(小学生～90代)	継続	相談支援課 FVAC

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<28頁>

基本目標1 地域活動を支える担い手づくり

(3) 誰もが参加できる地域活動の推進

③ ボランティアグループ・当事者団体等との協働・支援の充実

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	ボランティアグループ・当事者団体等との協働事業の推進	ボランティアグループの活動が活発に行われ、円滑な運営がすすめられるよう、助言や情報提供を充実するとともに、市内のボランティア団体と連携しながら、ボランティア(グループ、個人)の自主的な取組を支援していきます。また、ボランティア活動・市民活動団体や当事者団体等と連携・協働しながら、ボランティア啓発イベント等を開催し、ボランティア活動について幅広く啓発していきます。	当事者の抱える生活課題の様々な問題や課題を共有し、解決策を話し合い、連携協力して取り組んでいきます。	A（実施率90%以上）  日頃より当事者からの相談に対し、該当する団体と連携しながら問題解決に取り組みました。また、より良い解決策を導けるよう情報収集に努めました。  相談件数：1,555件	継続	相談支援課 FVAC
2	子育て支援に関わるボランティア等への支援	ボランティアグループの活動が活発に行われ、円滑な運営がすすめられるよう、助言や情報提供を充実するとともに、市内のボランティア団体と連携しながら、ボランティア(グループ、個人)の自主的な取組を支援していきます。また、ボランティア活動・市民活動団体や当事者団体等と連携・協働しながら、ボランティア啓発イベント等を開催し、ボランティア活動について幅広く啓発していきます。	地域定着を図るため、広報活動や講座、講演会などを実施し、地域に支援の輪を広げます。	A（実施率90%以上）  災害ボランティア養成講座の一環として、身近にできる防災食を学ぶ講座(参加者47人)、団体の協力による親子で楽しむ木育体験(参加者54人)を開催しました。多方面から地域支援を広げました。	継続	相談支援課 FVAC
3	ピアカウンセリング等地域住民による相談支援活動の検討	ボランティアグループの活動が活発に行われ、円滑な運営がすすめられるよう、助言や情報提供を充実するとともに、市内のボランティア団体と連携しながら、ボランティア(グループ、個人)の自主的な取組を支援していきます。また、ボランティア活動・市民活動団体や当事者団体等と連携・協働しながら、ボランティア啓発イベント等を開催し、ボランティア活動について幅広く啓発していきます。	地域住民からの情報を収集し、同じ悩みをもつ人同士が自分の体験を活かし、相互に支え合える関係ができるなどの地域住民が相談支援できる環境づくりに努めます。	A（実施率90%以上）  地域住民がコロナ禍でも支え合い、相談できる場として月一回のオンラインサロン「福カフェ」を開催しました。情報交換や、相談支援できる環境づくりを構築しました。  全15回・参加者数170人	継続	相談支援課 FVAC

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<28頁>

基本目標1 地域活動を支える担い手づくり

(3) 誰もが参加できる地域活動の推進

④ ボランティア・市民活動センターの基盤強化

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	ボランティア・市民活動センター運営委員会の充実	ボランティア・市民活動センターは、これから活動に関わる人を発掘する場であるとともに、地域のニーズを的確に把握し、人々に知らせ、つなぎ、課題解決をしていくための住民との協働の場です。このような視点に立ち、ボランティア・市民活動センター事業を推進していくために、運営委員会の充実とさらなる活性化を図ります。	地域社会に密着した問題点を早期に把握し、解決できる活動を実施します。	A（実施率 90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
				幅広い活動実践者から組織された運営委員会では、市民や活動団体に寄り添うボランティア・市民活動センターとなるよう運営について協議しました。		
2	相談・コーディネート・ニーズ把握の充実	さらに、地域住民が生活課題等に気づき、自発的にボランティア活動をすることは、住みよい地域社会を共に築いていく上で大きな力となります。ボランティアが、その力を十分に発揮するためには、相談に応じ、関係機関と協力、連携し、調整をするボランティアコーディネーターの役割が重要です。コーディネート機能の充実のために、コーディネーターのスキルアップに努めるとともに、ニーズ把握や関係機関・団体との連携を図ります。	ボランティアや市民活動に取り組む市民の相談援助に努めるとともに、ボランティアをしたい人、ボランティアを必要とする人の需要調整をしていきます。	A（実施率 90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
				市民に寄り添い、相談支援やボランティアのコーディネートに努めました。また、円滑な需給調整となるよう他市の取り組み等のリサーチに努め実践しました。		
3	関係機関・団体等との連携強化	地域福祉に関する課題等を取り上げ、各関係機関・団体等の連携強化や支援により、地域の福祉活動を充実させます。	地域福祉に関する課題等を取り上げ、各関係機関・団体等の連携強化や支援により、地域の福祉活動を充実させます。	A（実施率 90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
				地域が抱える課題に対して、課題解決に取組み、団体への活動支援、協力を強化しました。また、他機関との連携や情報交換を推進しました。(例：フードパントリー、薪の配布等)		

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<29頁>

基本目標1 地域活動を支える担い手づくり

(3) 誰もが参加できる地域活動の推進

⑤地域における市民学習（福祉）の推進

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	市民学習（福祉）に関する広報啓発の充実	<p>「我が事 丸ごと 地域共生社会」づくりを推進するためには、子どもから大人まで地域社会全体で福祉の理解者・協力者を拡大していくことが不可欠の条件となります。</p> <p>福生市社協は、地域、学校、家庭の三者がそれぞれに市民学習（福祉）活動を展開することや、三者が連携して市民学習（福祉）を行っていくことを支援し、「地域ぐるみの市民学習（福祉）」を推進します。</p>	<p>【FVAC】</p> <p>学ぶことで自らの心を耕し、“耕した心”で地域と豊かなつながりを創出していくことにつなげる。それは、まちづくりの力量アップとなるもので、情報提供、支援の方策などの仕組みを、市民学習から発展させます。</p>	A（実施率90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
			<p>【成年後見】</p> <p>年1回の学習会を開催いたします。随時、関係機関と連携し、パンフレット等を活用しながら成年後見制度の普及、啓発を図ります。</p>	A（実施率90%以上）	継続	
			<p>【地域包括】</p> <p>市民講座を年2回実施します。小地域福祉活動等での講話及び啓発のためのリーフレットの配布をいたします。家族介護者教室を開催いたします。</p>	A（実施率90%以上）	継続	地域包括支援 センター
			<p>福祉教育に携わる担当教諭、地域ボランティアと連携し、障がいのある人もない人も共に生きる社会をつくるために、福祉体験プログラムをより充実した内容とします。</p>	A（実施率90%以上）	継続	
2	学校における福祉体験学習等への支援（ボランティア派遣等）の充実		福祉教育を通じて、障がい者への理解や差別、偏見をなくす地域社会を目指し、各機関と連携しながら計画・実施しました。			

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）		計画（令和4年度）		所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由		具体的な計画など (継続以外の場合)		
3	企業・事業所などが実施するボランティア活動・福祉教育活動の支援	「我が事 丸ごと 地域共生社会」づくりを推進するためには、子どもから大人まで地域社会全体で福祉の理解者・協力を拡大していくことが不可欠の条件となります。	地域の企業、事業所等のそれぞれの特性を活かした社会貢献を発掘し、地域につなげます。	A（実施率 90%以上）		継続		相談支援課 F V A C
				N P O とボランティア団体がともに社会貢献活動を行うことで、貧困やひとり親家庭等の支援につながりました。  (フードバンクふっさへの後方支援など)				
4	地域における市民学習(福祉)・ボランティア体験学習プログラムの開発	福生市社協は、地域、学校、家庭の三者がそれぞれに市民学習(福祉)活動を展開することや、三者が連携して市民学習(福祉)を行っていくことを支援し、「地域ぐるみの市民学習(福祉)」を推進します。	体験学習では、SDG s など、市民の関心事に合わせた講座を開催します。	A（実施率 90%以上）		継続		相談支援課 F V A C
				新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン化が加速した中で、市民からのニーズが多い講座を企画し、実施しました。また、今後の市民学習の発展となるよう、継続的な支援に努めました。  スマートフォン体験・活用講座 全3回・延参加者数11人 オンライン体験・活用講座 全2回・延参加者数19人				

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<30頁>

基本目標2 支援が必要な人を支える地域づくり

(1) 包括的な支援体制の整備

① 相談支援活動の充実と相談支援体制の構築

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	生活課題を把握した相談支援活動の充実	<p>福生市社協は、子どもから高齢者・障害者まで切れ目のない相談支援活動が「強み」であり、相談者の課題解決に取り組んでいます。</p> <p>今後も、相談支援体制の構築などの取り組みも進め、相談支援活動の充実を図ります。</p> <p>住民の多様な生活課題を解決するためには、相談の初期段階での的確なニーズ把握と家庭訪問などのアウトリーチによるきめ細かな情報提供が必要です。また、相談者の要望と必要に応じ、丁寧に他の窓口や関係機関へつなげるなど、サービスの提供や支援できる体制づくりが求められます。</p> <p>福生市社協が実施している多様な相談支援活動の「強み」を活かし、相談窓口や関係機関との連携を強化し、率先して相談者の立場に立った相談支援体制の構築を目指します。</p>	<p>【FVAC】 地域で支え合い、つながりをつくるために、地域住民誰もが、それぞれの立場で自分たちにできることを考え、活動につながるようなきっかけづくりを支援します。</p>	A（実施率 90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
			<p>【成年後見】 相談支援活動の充実を図り、相談者の課題解決に努めます。</p>	A（実施率 90%以上）	継続	成年後見 センター福生
			<p>【地域包括】 センターの基本機能である総合相談、介護予防支援により市民の相談を受け付け、多様な方法による相談を実施していきます。</p>	A（実施率 90%以上）	継続	地域包括支援 センター
			<p>【障害者自立生活】 事業の進め方に基づき、情報提供に努め、一人一人の状況に応じた相談支援を実施し、充実を図ります</p>	B（実施率 50～90%）	継続	生活支援課 障害者自立生活 支援センター
			<p>【成年後見】 課題解決に向けた情報提供、関係機関への同行、引継ぎを行います。</p>	A（実施率 90%以上）	継続	相談支援課 成年後見 センター福生
			<p>【地域包括】 センターの基本機能である総合相談、介護予防支援により市民の相談を受け付け、しかるべき機関への引継ぎを行います。</p>	A（実施率 90%以上）	継続	地域包括支援 センター
2	他機関への紹介や同行支援の充実	<p>また、相談者の多様な生活課題の解決、福生市内における相談支援活動の充実のために、コミュニティソーシャルワークの考え方や技法を習得した人材（CSW）配置を検討します。</p>	<p>【成年後見】 課題解決に向けた情報提供、関係機関への同行、引継ぎを行います。</p>	A（実施率 90%以上）	継続	相談支援課 成年後見 センター福生
			<p>【地域包括】 センターの基本機能である総合相談、介護予防支援により市民の相談を受け付け、しかるべき機関への引継ぎを行います。</p>	A（実施率 90%以上）	継続	地域包括支援 センター

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
2	他機関への紹介や同行支援の充実	福生市社協は、子どもから高齢者・障害者まで切れ目のない相談支援活動が「強み」であり、相談者の課題解決に取り組んでいます。	【障害者自立生活】 相談者が困惑しないように、関係機関との連携を密に図るとともに、支援体制の強化を図ります。	B（実施率 50～90%） 必要に応じて他機関へスムーズに繋ぎ支援しました。 定期的な職場訪問や体調の安定が図れるよう通院同行等を行い、安定した就労継続が出来るよう定着支援の充実を図りました。また、コロナウイルス感染拡大の状況で、電話やメール、オンラインでの連携を強化しました。	継続	生活支援課 障害者自立生活支援センター
			【成年後見】 地域連携ネットワークの充実を図ります。	A（実施率 90%以上） ケースに応じた関係機関との支援体制を構築し、地域連携ネットワークの充実に努めました。	継続	
3	相談関係機関との連携とネットワークの充実	住民の多様な生活課題を解決するためには、相談の初期段階での的確なニーズ把握と家庭訪問などのアウトリーチによるきめ細かな情報提供が必要です。また、相談者の要望と必要に応じ、丁寧に他の窓口や関係機関へつなげるなど、サービスの提供や支援できる体制づくりが求められます。  福生市社協が実施している多様な相談支援活動の「強み」を活かし、相談窓口や関係機関との連携を強化し、率先して相談者の立場に立った相談支援体制の構築を目指します。	【地域包括】 福祉・保健・医療・介護等のセンターが参加する会議体及びセンターが主催する会議に参加する機関とネットワークの充実を図ります。 民生委員、行政協力員等の地域の人材との連携を深めます。	A（実施率 90%以上） センターが主催する地域ケア会議、主任介護支援専門員連絡会のほか、行政、医療機関、社会福祉法人等が開催する会議や民生委員の会合、自治会、集合住宅管理者が出席する会議に参加しネットワークの充実に努めました。	継続	地域包括支援センター
			【障害者自立生活】 関係機関との連携を深め、情報収集に努めます。	B（実施率 50～90%） 関係機関との会議を定期的実施し、相互に情報共有を行い、連携を強化しました。 (実績⇒西多摩地区就労支援機関連絡会 2回、就労支援部会 4回、他連絡会 4回 等)	継続	
			【FVAC】 サロン活動への出張相談において、ニーズ把握し、課題解決に向けて支援します。	A（実施率 90%以上） コロナ禍でも開催しているサロンを訪問し、講座の開催や健康相談等に努めました。 サロン訪問：167回	継続	相談支援課 FVAC
			【成年後見】 現在の実施状況の把握及びニーズ調査を行います。	B（実施率 50～90%） 他部署学習回答と連携し、センターの周知活動、相談を行いました。個別相談対応時にニーズ聞き取りを行いました。	継続	成年後見センター福生
4	出張相談・巡回相談等実施の研究・検討	また、相談者の多様な生活課題の解決、福生市内における相談支援活動の充実のために、コミュニティソーシャルワークの考え方や技法を習得した人材（CSW）配置を検討します。	【地域包括】 小地域福祉活動等において専門職が参加し健康や介護に関する相談を行います。	A（実施率 90%以上） 小地域福祉活動、老人クラブ等を訪問し、講座の開催と共に相談を行いました。 全5回・延参加者数 105人	充実	地域包括支援センター

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等	
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)		
5	コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置の研究・検討	<p>福生市社協は、子どもから高齢者・障害者まで切れ目のない相談支援活動が「強み」であり、相談者の課題解決に取り組んでいます。</p> <p>今後も、相談支援体制の構築などの取り組みも進め、相談支援活動の充実を図ります。</p>	コミュニティソーシャルワーク等の研修に参加します。	B（実施率 50～90%）	継続	総合運営課	
				地域福祉コーディネーターの配置を含めた重層的支援体制整備事業の協議を市と行いました。	コミュニティソーシャルワーク等の研修に積極的に参加し、人材育成を進めます。また重層的支援体制整備事業の協議を市と行いコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置のための基盤づくりを進めていきます。		
6	職員のスキルアップ研修の実施	<p>住民の多様な生活課題を解決するためには、相談の初期段階での的確なニーズ把握と家庭訪問などのアウトリーチによるきめ細かな情報提供が必要です。また、相談者の要望と必要に応じ、丁寧に他の窓口や関係機関へつなげるなど、サービスの提供や支援できる体制づくりが求められます。</p> <p>福生市社協が実施している多様な相談支援活動の「強み」を活かし、相談窓口や関係機関との連携を強化し、率先して相談者の立場に立った相談支援体制の構築を目指します。</p> <p>また、相談者の多様な生活課題の解決、福生市内における相談支援活動の充実のために、コミュニティソーシャルワークの考え方や技法を習得した人材（CSW）配置を検討します。</p>	【FVAC】 地域に根差す中間支援組織としてのスキルを磨くとともに、よりよい地域社会をつくるため、支援力アップ塾への参加、相談支援のスキルアップ研修に参加します。	A（実施率 90%以上）	継続	相談支援課 FVAC	
			【成年後見】 関係機関主催の研修会等へ参加します。	職員のスキルアップにつながる各種研修・講習会に参加し、ボランティアコーディネーターのスキルアップに努めました。  延 46 回・延参加人数 82 人	A（実施率 90%以上）		継続
			【地域包括】 東社協、東京都、その他職域団体らが主催する研修へ参加します。専門職による内部研修を実施します。	コロナ禍ではありませんが、動画配信、オンライン研修等に参加し、相談援助技術向上を図りました。  研修会等 延 32 回参加	A（実施率 90%以上）	継続	地域包括支援 センター
				オンラインによる研修を主に包括支援センターの機能、虐待等の権利擁護、ケアマネジメントに関する研修に参加しました。また権利擁護に関連する内部研修を実施し、地域における実務の標準化を推進しました。  連絡会：12 回 研修会：2 回 内部研修：2 回			

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<31頁>

基本目標2 支援が必要な人を支える地域づくり

(1) 包括的な支援体制の整備

②小地域福祉活動への支援

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	生活課題を抱える人への見守り・声かけ活動の支援		地域における生活課題を抱える人のニーズ把握と見守り活動の支援を行います。	A（実施率90%以上） 福祉地区のスタッフと連携し、地域に見守りが必要な方への支援に努めました。 福祉地区訪問：38回	継続	相談支援課 FVAC
2	高齢者や障害者などの健康づくり及び生きがいづくりの「ふれあい・いきいきサロン」の支援	福生市社協は、現在、住民主体のまちづくり活動として、ふれあい・いきいきサロンなどの小地域福祉活動を推進しています。  こうした地域住民の小地域福祉活動への支援を通し、生活課題を抱える人との「であい・ふれあい」を深め、その人らしく暮らし続けることを「支える」活動につながるよう、市内全域に波及させることが喫緊の課題です。  小地域における地域共生社会づくりを目指した取り組みを進めるため、社協の相談窓口は、各福祉地区への支援に努めていきます。	【FVAC】 サロン活動の実施状況、実施内容などを踏まえ、他機関とも連携し、各福祉地区の活動を支援します。	A（実施率90%以上） サロン活動の充実に向けて関係機関と連携し支援に努めました。	継続	相談支援課 FVAC
			【成年後見】 現在の実施状況の把握及びニーズ調査、周知方法を検討します。	D（未実施） 福祉地区へ出向き、周知活動を実施することができませんでした。	改善 福祉地区の年間活動スケジュールを確認し、スタッフへ調整し周知を図ります。	成年後見センター福生
			【地域包括】 専門職が参加し健康・介護・その他幅広い相談を行います。また講話等を行い地域の福祉教育の推進を図ります。	A（実施率90%以上） 出前講座を実施し講話等を行い地域の福祉教育の推進を図りました。 全5回・延参加者数105人(再掲)	継続	地域包括支援センター
			【障害者自立生活】 相談者が困惑しないように、関係機関との連携を密に図るとともに、支援体制の強化を図ります。	B（実施率50～90%） 地域で安心して生活が送れるよう相談支援を行い、必要な情報提供や必要に応じて関係機関へ繋ぎました。	改善 地域で安心した生活が送れるよう、生活課題を抱える人への支援に繋がるために、相談支援窓口の周知方法を検討します。	生活支援課 障害者自立生活支援センター

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
3	住民主体の福祉懇親会等の開催支援	福生市社協は、現在、住民主体のまちづくり活動として、ふれあい・いきいきサロンなどの小地域福祉活動を推進しています。  こうした地域住民の小地域福祉活動への支援を通し、生活課題を抱える人との「であい・ふれあい」を深め、その人らしく暮らし続けることを「支える」活動につながるよう、市内全域に波及させることが喫緊の課題です。  小地域における地域共生社会づくりを目指した取り組みを進めるため、社協の相談窓口は、各福祉地区への支援に努めていきます。	【FVAC】 住民主体の福祉懇談会が開催されるようその基盤づくりを支援します。	A（実施率 90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
			【地域包括】 小地域福祉活動及び認知症家族の会への住民の参加を推進します。小地域福祉活動の情報提供を実施します。	A（実施率 90%以上）	継続	
			【FVAC】 地域の支援者と連携し、日頃の見守りや災害時における支援ができるよう体制強化を図ります。	A（実施率 90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
4	災害時の要配慮者支援体制づくりの支援	小地域における地域共生社会づくりを目指した取り組みを進めるため、社協の相談窓口は、各福祉地区への支援に努めていきます。	【FVAC】 地域の支援者と連携し、日頃の見守りや災害時における支援ができるよう体制強化を図ります。	A（実施率 90%以上）	継続	
			【地域包括】 要配慮者支援に関する講座を開催します。	A（実施率 90%以上）	継続	地域包括支援センター
			【FVAC】 地域の支援者と連携し、日頃の見守りや災害時における支援ができるよう体制強化を図ります。	A（実施率 90%以上）	継続	
【地域包括】 要配慮者支援に関する講座を開催します。	A（実施率 90%以上）	継続	地域包括支援センター			
					介護支援専門員ほか居宅サービス事業者らにBCPの作成に関する講座を実施し、要配慮支援者に対する備えにも触れました。  参加者数 26 人(オンライン開催)	

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<31~32頁>

基本目標2 支援が必要な人を支える地域づくり

(2) 大規模災害への福祉的対応

① 災害時における要配慮者への支援

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	避難行動要支援者の避難救援活動を行うための必要な搬送業務	福生市と「災害時における避難行動要支援者の搬送等」に関し協定を結び、災害等が発生または発生するおそれがある場合に、福生市からの支援協力要請に基づき、高齢者や障害者その他の特に配慮を要する方のうち、災害時に自力で非難することが困難な方の支援に努めます。	主事クラスへの車両操作研修の実施と研修未実施者への車両操作研修を実施していきます。	A（実施率90%以上）	継続	総合運営課 総務係
				令和2年度に未実施職員を中心に車両操作研修を実施しました。 実施日：7月2日 参加者：7名		
2	避難救援活動に伴う避難行動要支援者の安否確認及び市内被害状況等に関する情報提供	左記について、情報共有しつつ具体的な体制整備がすすめられるように検討していきます。	災害ボランティアセンター設置運営訓練の際に要支援者の安否確認及び搬送の訓練を実施。引き続き他部署との連携等の調整も検討しました。	A（実施率90%以上）	継続	総合運営課 総務係

② 災害ボランティアに関する啓発と育成

1	災害ボランティアに関する啓発	今日、災害ボランティアの役割の啓発と育成は重要な課題です。あわせて、災害ボランティアセンターにおいてボランティア活動に関わるコーディネーターの養成も重要です。	災害を想定した災害ボランティアセンターの運営や機能・役割、仕組み、拠点についての講座や研修を実施していきます。	A（実施率90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
				他市の社協と共催で災害ボランティア養成講座を3回実施しました。災害ボランティアセンターについて、ハード面（重機等）での支援方法、防災食など各テーマに分けて学びを深めました。		
2	災害時に活動するボランティア及び災害ボランティアコーディネーターの養成・登録	福生市社協は、福生市と連携し、災害ボランティア活動への理解を広げる講演会や実際に活動を行うボランティアを育成するための研修会等を充実させていきます。	災害時に活動できるボランティア及びボランティア団体の育成につながる講座や研修を実施し、災害ボランティアコーディネーターの養成・登録に努めます。	A（実施率90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
				令和2年にチェンソー資格講座を開催し、発災時に危険となる河川の傾倒木を伐採する市民活動団体を設立し、令和3年度も団体の後方支援することで、新たなボランティアの養成につながりました。		

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<31~32頁>

基本目標2 支援が必要な人を支える地域づくり

(2) 大規模災害への福祉的対応

③災害ボランティア体制整備の支援

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等研修会の実施	大規模災害発生時における復旧・復興にはボランティアの力が不可欠であり、災害ボランティアセンターが、そのボランティア活動の拠点となります。	災害ボランティアセンター立ち上げや地域の団体等の連携体制についての調整をおこない、ボランティアが支援しやすい被災地支援体制の構築を図ります。	B（実施率50~90%）	継続	相談支援課 FVAC
				新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、規模を縮小して災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施しました。また、他市での取り組み等の情報収集を行いました。 延参加者数25人(職員のみ)		
2	福生市及び関係機関との連携の強化	福生市地域防災計画に基づき、災害ボランティアセンターの運営を支援する体制を整備します。	福生市地域防災計画に基づき、福生市及び関係機関市民と連携して市民の防災意識が高まるように講座や研修を行います。	A（実施率90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
				近隣のボランティア・市民活動センターと連携し、行政を含めた関係機関と市民の防災意識を高める講座を行いました。 全3回・延参加者数160人		

④災害時の福生市社会福祉協議会体制の強化

1	事業継続計画（BCP）の策定	災害発生直後には、地域の被災状況や必要とされる支援策についての情報収集・分析を行うとともに、緊急小口資金の貸付等、特殊かつ緊急を要する膨大な災害時事業を展開することになります。	各種資料等の研究をし、策定の実施を継続する。	B（実施率50~90%）	継続	総合運営課 企画財政係
				新型コロナウイルス等感染症発生時における事業継続計画を策定しました。		
2	福生市社協職員災害時行動マニュアルの策定（継続）	福生市社協は、大規模災害発生を想定した体制づくりが必要です。そのため、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、災害時対応マニュアルの見直し、職員を対象とした災害訓練を行い、災害発生時に迅速な対応ができる体制整備に努めます。	マニュアル作成を継続します。	C（実施率50未満）	継続	総合運営課 企画財政係
				BCPと連携ができるようにBCP側の研究を中心に新型コロナ等時代に合わせた作成に向けて研究した。		
3	各種災害・防災訓練の実施	福生市社協は、大規模災害発生を想定した体制づくりが必要です。そのため、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、災害時対応マニュアルの見直し、職員を対象とした災害訓練を行い、災害発生時に迅速な対応ができる体制整備に努めます。	災害時対応マニュアルの見直し、職員を対象とした防災訓練の実施をし、災害発生時に迅速な対応ができるよう備えます。	B（実施率50~90%）	継続	相談支援課 FVAC
				他区市町村の状況や、研修会での情報を参考にマニュアルを見直し、有事の際に迅速に支援できるような体制を目指しました。		
4	他地区被災地への職員派遣	福生市社協は、大規模災害発生を想定した体制づくりが必要です。そのため、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、災害時対応マニュアルの見直し、職員を対象とした災害訓練を行い、災害発生時に迅速な対応ができる体制整備に努めます。	被災地域の状況に応じた人材を派遣できるよう、情報収集を行い、体制を整えていきます。	A（実施率90%以上）	継続	総合運営課 総務係
				協定に基づく案件は発生しませんでした。要請時に職員派遣ができる基本的な体制は整えられており、引き続き状況に応じた人材派遣体制の整備を進めています。		

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<33頁>

基本目標3 適切な支援につなげる体制づくり

(1) 生活上の課題を解決できる仕組みの構築と支援事業の推進

①福祉サービス利用援助と成年後見制度の利用促進

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	充実した地域連携ネットワークを構築するため、消費者相談関係、警察関係、認知症専門医、金融機関関係などの参画	成年後見センター福生では、福生市と連携し、中核機関として地域連携ネットワークのコーディネートをはじめ、成年後見制度の利用促進を図るための機能・役割を担っていきます。	成年後見制度利用促進のため、HPや広報など広報活動を行い、関係機関との連携を図ります。	A（実施率90%以上）	継続	相談支援課 成年後見センター福生
				公共機関及び関係機関等へパンフレット等設置を依頼して連携を図り、広報活動を行いました。		
2	検討支援会議の充実	中核機関として、地域連携ネットワークの構築をはじめ、広報・相談機能の充実、制度の利用促進、後見人支援機能等の推進を図り、必要な人が本人らしい生活を守るための制度として成年後見制度を利用できるよう推進していきます。	地域連携ネットワークを活用した専門職の検討をします。	A（実施率90%以上）	継続	相談支援課 成年後見センター福生
				検討・支援会議を11回開催し、23ケースについて検討しました。ケースにより関係機関へ会議への参加協力を依頼しました。		
3	広報・相談機能の充実	また、併せて地域福祉権利擁護事業の周知、利用拡大にも努め、高齢者や障害者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるように、福生市や専門家と協働して権利擁護の充実を図ります。	【成年後見】 パンフレット、ちらし等の配布、新たな広報方法の検討をします。	A（実施率90%以上）	継続	相談支援課 成年後見センター福生
				公共機関、関係機関等へパンフレット等設置を依頼し広報を行いました。また、関係機関へ随時事業について説明を行い、周知を図りました。		
				A（実施率90%以上）	継続	地域包括支援センター
		【地域包括】 リーフレットの配布と市報、社協広報、社協HP、YouTubeによる情報提供を実施します。	小地域福祉活動など地域で展開される市民活動に参加し包括支援センターの機能の周知を実施。社協広報並びに社協HPより情報発信を行いました。			

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
4	法人後見受任に向けた行政との調整	中核機関として、地域連携ネットワークの構築をはじめ、広報・相談機能の充実、制度の利用促進、後見人支援機能等の推進を図り、必要な人が本人らしい生活を守るための制度として成年後見制度を利用できるよう推進していきます。	行政担当課と連携し、方向性の検討を行います。	A（実施率 90%以上）	充実	相談支援課 成年後見 センター福生
				令和5年度の実施に向けて行政担当課と連携し、受任に向けた検討及び情報収集を行いました。	令和5年度の事業実施に向けて行政担当課と連携・検討を行い、運営委員会等での協議を行い、予算化を目指します。	
5	地域福祉権利擁護事業の周知	また、併せて地域福祉権利擁護事業の周知、利用拡大にも努め、高齢者や障害者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるように、福生市や専門家と協働して権利擁護の充実を図ります。	関係機関と連携した周知活動、相談窓口の紹介依頼を行います。	A（実施率 90%以上）	継続	相談支援課 成年後見 センター福生
				関係機関へパンフレット等活用した周知を行い、連携した対応を行いました。随時事業の説明を行い、連携した対応を図りました。  新規契約締結者 4名		
6	地域福祉権利擁護事業利用拡大に向けた支援員の拡充		市民及び関係機関への周知、支援員拡充に向けた他地区の取り組み状況調査・検討をします。	A（実施率 90%以上）	継続	相談支援課 成年後見 センター福生
				生活支援員を公募や市民後見人が対応している地区もありますが、現状福生ではそのような対応は困難なため、引き続き調査・検討をします。		

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<35頁>

基本目標3 適切な支援につなげる体制づくり

(1) 生活上の課題を解決できる仕組みの構築と支援事業の推進

②在宅福祉サービス事業等の充実

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	在宅移送サービスの充実	運転ボランティアの協力により、公共の交通機関を利用する事が困難な状況等にある方が、ハンディキャブ（車椅子専用車）を利用することで、健康で生きがいを持てるよう通院や社会参加等を支援します。また、福祉有償運送の登録団体として、福祉輸送の適正な運営に努めます。	運転ボランティアの高齢化と確保が課題となっています。安全運転に努めていただけるよう継続して研修を実施していきます。	A（実施率90%以上）	継続	施設サービス課 施設サービス係
				令和2年度に比べ令和3年度は26件利用が増加しました。 また、運転ボランティアの研修については、感染対策を行いながら実施しました。	令和3年度に比べ利用が増えることが考えられるため、円滑にサービス提供できるよう努めます。また、引き続き運転ボランティアの安全と確保に努めます。	
2	ハンディキャブ貸出サービスの充実	歩行困難で公共交通機関を利用することが困難な方々及びその家族等に、ハンディキャブ（車椅子専用車）を貸し出すことにより、その行動範囲を広げ、生きがいのある生活を送ることができるよう支援します。	貸出サービスの対象者が外出や買い物に行けるように車の予約・準備等をスムーズに行います。	A（実施率90%以上）	継続	施設サービス課 施設サービス係
				令和3年は42件の利用があり、希望している方に速やかに手続きをし、貸し出しをすることができました。	貸出サービスで使用している3号車が定年劣化してきていることから、利用者の安全を考慮し、車両の入れ替えまたは、保有台数の削減等検討し、より安全なサービス向上に努めます。	
3	介護用具貸与サービスの充実	制度内では対応困難な狭間で介護用具を必要とする方に、車椅子等を貸し出す事で、安心した日常生活が送れるよう支援を進めます。	日々貸与用品の在庫を把握し、急な予約や利用にも対応をしていきます。年に1度点検を行い、安全に貸し出せるよう努めます。	A（実施率90%以上）	継続	施設サービス課 施設サービス係
				ワクチン接種で使用するための車いすの貸出が多くみられました。令和3年は72件の車いすの貸出があり、令和2年度に比べて36件増加しました。希望している方に速やかに手続きをし、貸与することができました。	制度内では対応困難な狭間で介護用具を必要とする方のニーズに合った福祉用具を安全に貸与ができるよう努めます。	
4	ほっとサービスの充実	住民参加を基本とした地域の支え合いの活動として、高齢者や障害者等の日常生活の支援を提供し、住み慣れた地域で安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を推進していきます。	対面でのサービス提供となることから、利用会員と協力会員へ感染対策を行う。不足する協力会員の確保のため広報を行います。	A（実施率90%以上）	継続	施設サービス課 施設サービス係
				感染対策を両会員に呼びかけ、感染予防の徹底を図りながら事業を実施しました。協力会員確保のため、市及び社協広報、さらにホームページにて、会員募集を行いました。		
5	高齢者配食サービスの充実	虚弱の一人暮らし高齢者等に対して、ボランティアの協力のもと、自宅に週2回昼食（弁当）を配食し、健康増進や人とのふれあい、安否の確認を通し地域の中で安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を推進していきます。	運転・配食のボランティアの協力を得て対象世帯への配食を行う。	A（実施率90%以上）	継続	施設サービス課 施設サービス係
				一人暮らし等の高齢者に対して、運転・配食両方のボランティアの協力を得て弁当の配達を行うことができた。		

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<36頁>

基本目標3 適切な支援につなげる体制づくり

(1) 生活上の課題を解決できる仕組みの構築と支援事業の推進

③子育て支援事業等の充実

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	「新・放課後子ども総合プラン」の一層の推進による学童クラブ事業運営の充実	福生市が「子育てするならふっさ」を合言葉に推進する子育て支援施策の一つ「学童クラブの待機児ゼロ」は平成28年から令和2年まで5年連続の達成と大きく貢献しており、更なる学童クラブの充実を図ります。	本事業の性質上、感染症予防が必要不可欠であることから、新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインを基に徹底し、集団感染の予防に努めます。 「新・放課後子ども総合プラン」の推進により、一体型放課後対策事業が計画実施されます。そのプロポーザルによる選定に臨む上で、今一度「基本方針」や「育成理念」を見つめ直し、事業の充実及び拡充に努めます。	A（実施率90%以上）	継続	施設サービス課 学童クラブ
				感染対策を行った上で恒例行事や季節行事、ふっさっ子の広場との連携及び交流事業を実施。学童クラブ見守り事業や、各関連機関と連携を図り、事業運営の充実を努めました。また、六小一体型放課後対策事業の一般公募に参画する上で、学童クラブ運営実績等を改めて見直し、より質の高い事業運営を目指す足掛かりとしました。	本事業の性質上、感染症予防が必要不可欠であることから、新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインを基に徹底し、集団感染の予防に努めます。 六小一体型放課後対策事業の開始により、学童クラブ事業とふっさっ子の広場事業を一体的な事業として捉え、事業の充実及び拡充に努めます。 また、学童クラブの指名公募が計画実施されません。そのプロポーザルによる選定に臨む上で、今一度「基本指針」や「育成理念」を見つめ直し、事業の充実及び拡充に努めます。	
2	子育て支援における多様なニーズ及び問題関と連携強化したファシリター・サポーター事業の充実	育児の支援を受けたい方(依頼会員)と、育児の支援を行いたい方(協力会員)が、相互援助活動をしながら、地域の子育て支援の推進に努めると共に、ボランティア活動普及と推進を視野に入れた、提供会員講習やフォローアップ講習会を積極的に受講できる環境整備を行い、より一層の子育て支援の充実を図ります。	新型コロナウイルス感染症における感染対策を徹底していきながら、提供会員講習会の戦略的な広報活動と計画的な実施を目指し、提供会員の拡充に努めます。また、フォローアップ講習会も計画的に実施していきながら、既存の提供会員のスキルの底上げを図り、事業そのものの充実を努めます。	A（実施率90%以上）	継続	施設サービス課 施設サービス係
				提供会員講習会、フォローアップ講習会、交流会を再開しました。新規登録会員数、活動件数ともに増加しコロナ前の利用状況に戻っている。		
3	子育てサロン等への活動支援	子育て中の保護者の悩みや不安の解消、閉じこもりへの対応、児童虐待の未然防止等を目的に、市民参加型の居場所づくりを進めます。	子育ての悩みや情報交換できる場としての居場所づくりを進め、子育て支援講座を開催する等の支援を行います。	B（実施率50～90%）	継続	相談支援課 F V A C
				子育てサロン連絡会を1回開催し、情報交換・共有に努め、子育て支援講座の計画を協議しました。		
4	おもちゃの図書館運営事業の充実	障害児や地域の子どもの遊び場、また市民の交流の場としてボランティアグループの協力でおもちゃの図書館を開設し、障害者(児)と一般未就学児が、おもちゃと遊びの楽しさをともに交流しながら遊ぶ場と機会を提供し、支援をします。	ボランティアグループへの支援を強化し、継続しておもちゃ図書館の充実を図ります。	B（実施率50～90%）	継続	相談支援課 F V A C
				コロナ禍で、年間の半分は休館としたが、再開後は、ホームページや情報誌等を通して開催日の告知、案内・紹介等の後方支援に努めました。		

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<37頁>

基本目標3 適切な支援につなげる体制づくり

(1) 生活上の課題を解決できる仕組みの構築と支援事業の推進

④高齢福祉・介護サービス等支援事業の充実

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	福生市地域包括支援センター熊川の充実	<p>自立支援、重症化防止に資する介護予防支援、介護予防ケアマネジメントの実施に努めます。</p> <p>センターの機能や各種事業の情報の発信に努め、地域住民だけでなく関係機関を含め気軽に相談できる、地域の情報が集まる相談機関となることを目指します。</p> <p>更に複雑化・複合化した支援ニーズに対し、地域ケア会議等のネットワークを活用し包括的な支援が提供されるよう関連機関との連携を図るとともに、認知症となった時でも地域で安心して暮らせる、見守る地域の醸成に努めます。</p>	<p>介護予防支援を進める中で利用者の自立支援を根底においたプラン作成を進めます。</p> <p>居宅介護支援事業所の作成する介護予防支援計画の内容を確認し、自立を助長する計画作成の指導を行います。</p> <p>地域ケア会議の実施により個別ケースにおける課題分析と対策の検討を関係機関と共に検討することで利用者の自立を促進すると共に地域が有する課題の抽出を図ります。</p> <p>また、社会福祉協議会が所有するホームページ及びFacebook、広報紙を活用し、気軽に相談できる、地域の情報が集まる相談機関となるよう努めます。</p> <p>認知症カフェ、認知症サポーター養成講座、地域における各種講座の開催し、認知症の理解や介護に関連する知識の伝達を行う。</p>	<p>A（実施率90%以上）</p>	<p>継続</p>	<p>相談支援課 地域包括支援センター</p>
2	老人福祉センターにおける健康維持及び趣味活動の充実	<p>高齢者の生きがいづくりを推進するため、生活相談・健康相談、健康づくり教室、教養講座等を実施し、高齢者が「健康で、安心して、いきいきと支え合って暮らせるまちづくり」を進めていきます。また、自発的に健康や趣味などの生きがい活動の場を広げられるようグループの育成・援助等を支援していきます。</p>	<p>コロナウイルス感染拡大防止対策としてセンターの換気や消毒等を徹底して実施し、必要に応じて利用者の人数制限等を行い安心して利用できるよう努めます。</p> <p>ワクチンを接種している利用者も多くなるとも割れるが引き続き感染対策を講じます。</p> <p>また、体操事業は感染状況を考慮しながら実施します。</p>	<p>A（実施率90%以上）</p>	<p>継続</p>	<p>施設サービス課 施設サービス係</p>

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
3	通所介護事業の充実	介護予防の視点から心身の状態が維持向上できるようなアプローチを行い、利用者が地域で生活し続けるために、他の関係機関と協力して支援していきます。 地域や世代間交流を取り入れ季節を感じられるような取り組みを加えるなど、充実した内容となる事業に努めます。	利用者が安全で安心して過ごせる環境等に努め、感染症対策をしながらイベント等を実施する。 利用者については前年実績を上回るように努める。	B（実施率 50～90%）	継続	生活支援課 高齢者通所 サービス係
				デイスタッフ及びその家族に新型コロナ感染者または濃厚接触者が出たものの、デイサービス内では発生せず、通常通りの運営を継続できた。また入浴サービスや提供するサービスの充実を図り、利用者の増加につながった。	利用者が安全で安心して過ごせる環境等に努め、感染症対策をしながらイベント等を実施し、世代間交流にも取り組んでいく。 利用者については前年実績を上回るように努める。	
4	高齢者生きがい活動支援デイサービス事業の充実	市内在住でおおむね65歳以上を対象に、閉じこもり予防、他者との交流、フレイル予防を中心にアプローチを行い、介護予防に取り組みます。 地域や世代間交流を取り入れ季節を感じられるような取り組みを加えるなど、充実した内容となる事業に努め、その人らしくより良い生活・人生を送れるよう支援します。	利用者が安全で安心して過ごせる環境等に努め、感染症対策をしながらイベント等を実施する。 利用者については前年実績を上回るように努める。	B（実施率 50～90%）	継続	生活支援課 高齢者通所 サービス係
				デイスタッフ及びその家族に新型コロナ感染者または濃厚接触者が出たものの、デイサービス内では発生せず、通常通りの運営を継続できた。また提供するサービスの充実を図り、利用者の増加につながった。	利用者が安全で安心して過ごせる環境等に努め、感染症対策をしながらイベント等を実施し、世代間交流にも取り組んでいく。 利用者については前年実績を上回るように努める。	

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<38頁>

基本目標3 適切な支援につなげる体制づくり

(1) 生活上の課題を解決できる仕組みの構築と支援事業の推進

⑤障害福祉サービス等支援事業の充実

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	障害者自立生活支援センターの充実	関係機関との連携を図るとともに、安心して働き続けられるよう定着支援の強化を図ります。	安定した就労が出来るよう、関係機関との連携を図りながら定着支援の強化に努めます。	B（実施率50～90%）  生活課題が複雑化してきている中で、不安や困り事等に耳を傾け、課題解決に向けて相談支援を行い、安定した生活と就労が継続出来るよう、相談支援と就労支援を一体的に行いました。	充実  生活課題に対し、安心して生活出来るよう、相談支援を行い、必要に応じて関係機関へ繋ぐ等連携強化を図ります。 また、虐待防止等のために必要な研修に参加し、職員の資質向上を図るとともに、委員会を設置し、虐待防止等に努めます。	生活支援課 障害者自立生活支援センター
2	特定相談支援事業・障害児相談支援事業の充実	きめ細かな情報提供と利用者の立場に立った相談支援の充実と相談支援体制の充実を図り、新規利用者の拡大強化を図ります。	職員同士の情報交換等による知識の向上や研修の受講により、相談支援体制の強化・充実を図ります。新規利用者10名を受入れを目指します。	A（実施率90%以上）  東京都相談支援従事者初任者研修の受講及び職員同士の意見交換を活発に行い、相談支援体制の強化の充実に努めました。	継続  職員同士の情報交換による知識の向上や研修の受講により、相談支援体制の強化・充実を図ります。新規利用者10名を受入れを目指します。	生活支援課 障害者通所サービス係
3	生活介護事業（はっぴい・れんげ園）の充実	知的・身体障害を持つ利用者の社会参加として、リサイクル活動や作品の販売事業を通じて地域の方たちとの交流を深めます。	週4～5日、市内のリサイクル品回収を行い、社会参加に努めます。 市役所にて年に2日、福祉センター喫茶たんぼぼにて2ヶ月毎に、オリジナル製品の販売を行い地域の方との交流に努めます。	B（実施率50～90%）  感染対策をしながら市内のリサイクル回収を行い社会参加に努めました。喫茶たんぼぼの販売は行えましたが、コロナの影響により市役所での販売は行えませんでした。	継続  今後も感染対策を行いながら、市内のリサイクル品回収を行い、社会参加に努めます。 市役所にて年に2日、福祉センター喫茶たんぼぼにて2ヶ月毎に、オリジナル製品の販売を行い地域の方との交流に努めます。	生活支援課 障害者通所サービス係
4	地域活動支援センター事業の充実	和菓子会社の紙袋製作、作品の創作等を通じて知的・身体障害を持つ利用者の社会参加の活動を進めます。	週2～3日の作業の継続を実施し、紙袋製作を約1000枚仕上げられる環境に努めます。	C（実施率50未満）  コロナの影響により紙袋の製作依頼がありませんでした。	継続、改善  今後も感染対策を行いながら利用者が安心して過ごせる環境を整え社会参加に努めます。紙袋製作は依頼があれば今後も継続して行います。	生活支援課 障害者通所サービス係

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<39頁>

基本目標3 適切な支援につなげる体制づくり

(1) 生活上の課題を解決できる仕組みの構築と支援事業の推進

⑥当事者団体の活動・組織化支援

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	当事者団体の支援	地域社会で暮らす当事者が、団体を組織し、共感できる仲間や地域住民とで会い、情報交換をすることなどは、地域社会で自らの問題解決のために重要です。	【企画財政係】 福祉団体助成金を交付します。	A（実施率90%以上）  3団体に助成金を交付しました。コロナウイルスの影響で行事ができない団体とは、協議し申請を次年度へ見送る等対処しました。	継続  申請団体に対して、行事の有無や繰越金等を協議し、助成金の交付をします。	総合運営課 企画財政係
			【FVAC】 当事者の組織化支援や当事者団体を支えるボランティア養成講座などに取り組みます。	A（実施率90%以上）  当事者団体が抱える悩み等の理解を深める講演会を企画・開催し、支援に努めました。	継続	相談支援課 FVAC
2	老人クラブの活動支援	しかし、当事者の抱える生活課題は様々であり、誤解や偏見により社会的な合意が不十分で制度化されずにいる問題も多くあります。そのために、各団体が抱える問題や課題を共有化し、解決策を話しあい、連携協力して取り組んでいくことが必要となります。福生市社協は、潜在化している福祉問題やニーズ把握を行い、当事者の組織化支援や当事者団体を支えるボランティアの養成などに取り組みます。	さまざまな活動や事業が円滑に行われるよう支援します。	A（実施率90%以上）  感染状況の悪化により予定していたスポーツ大会、芸能大会は中止となりましたが、コロナ禍で感染対策を行い、円滑に事業が実施できるよう支援しました。	継続  コロナ禍でも安全に円滑に事業や活動ができるよう継続して支援をしていきます。	施設サービス課 施設サービス係
			年6回の認知症カフェを開催します。認知症カフェを主催する事業所との情報共有を目的とした会議を開催します。家族会へ参加します。	A（実施率90%以上）  コロナ禍であったが感染予防に留意し、認知症カフェを実施しました。  全6回・延参加者数35人	縮小  地域包括支援センターの体制強化により市内のセンターが3か所なったことから全6回を全3回に縮小し開催します。	相談支援課 地域包括支援センター
4	当事者団体の組織化・自主活動の支援	地域社会で自ら共感できる仲間や地域住民との出会いなど、自主的に活動できるよう支援します。		A（実施率90%以上）  当事者がコロナ禍でも活動を止めることなく、地域で安心して活動できるよう支援に努めました。	継続	相談支援課 FVAC

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
5	当事者を支援するグループづくりの支援	地域社会で暮らす当事者が、団体を組織し、共感できる仲間や地域住民とで会い、情報交換をすることなどは、地域社会で自らの問題解決のために重要です。	当事者団体を支えるボランティア養成講座などに取り組み、支援する団体の育成を図ります。	E（外的要因により実施不可）	継続	相談支援課 FVAC
				新型コロナウイルス感染症の影響により、手話・音訳・点字ボランティアの養成講座は実施できませんでした。		
6	当事者懇親会の当事者団体の自主活動の支援	しかし、当事者の抱える生活課題は様々であり、誤解や偏見により社会的な合意が不十分で制度化されずにいる問題も多くあります。そのために、各団体が抱える問題や課題を共有化し、解決策を話しあい、連携協力して取り組んでいくことが必要となります。福生市社協は、潜在化している福祉問題やニーズ把握を行い、当事者の組織化支援や当事者団体を支えるボランティアの養成などに取り組めます。	【FVAC】 当事者懇親会の当事者団体の自主活動が受実するよう支援に努めます。	A（実施率90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
				当事者の家族に寄り添い、講座を実施しました。また、新たに設立する団体を支援しました。		
				【地域包括】 認知症家族の会に参加し情報提供、相談を実施します。	A（実施率90%以上）	継続
				認知症家族の会に参加し、情報提供・相談を行いました。 年5回参加		

第5期福生市地域福祉活動計画（令和3年度）進捗状況調査一覧表

第5期福生市地域福祉活動計画<39頁>

基本目標3 適切な支援につなげる体制づくり

(2) 地域福祉充実のための様々な提案の促進

No.	事業・施策	内容	計画（令和3年度）	実績（令和3年度）	計画（令和4年度）	所管課等
				A、Bは実施内容 C、D、Eはその理由	具体的な計画など (継続以外の場合)	
1	福祉ニーズ把握のための情報収集	福祉サービスを適切に実施するため、日常の業務の中からニーズを把握するとともに各種の情報収集に努めます。	【FVAC】 小地域活動や市民活動などで、きめ細やかな情報収集をおこない、ニーズを把握に努めます。	A（実施率 90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
				コロナ禍でも小地域活動や市民活動に役立つ情報を提供できるよう支援しました。		
			【地域包括】 総合相談、介護予防支援業務を実施する中、住民のニーズを収集していきます。	A（実施率 90%以上）	継続	地域包括支援センター
				介護予防支援業務を実施する中で把握された福祉ニーズについて地域ケア会議等を利用し協議を行いました。		
2	行政等への提案、提言	福祉の制度やサービスが充実していくためには、利用する住民の意見や要望が行政等につながり、制度やサービスに反映されていくことが大切です。 地域の中で直接住民と接している視点から福祉サービスを点検し、明らかになった課題について、必要に応じて行政等へ提案、提言を行います。	【FVAC】 地域活動の中から市民の声に耳を傾け、明らかになった課題について必要に応じて提案、提言に努めます。	A（実施率 90%以上）	継続	相談支援課 FVAC
				市民の課題やニーズを反映した講座や研修等を実施し、行政に市民ニーズを報告しました。		
			【地域包括】 総合相談、介護予防支援業務を実施する中、住民のニーズを収集していきます。 地域ケア会議、当事者会などから表出される課題をとらえ提案・提言を行います。	A（実施率 90%以上）	継続	地域包括支援センター
				地域ケア会議等により協議した結果を福生市に報告。課題提起を実施しました。		